

こまいぬ
狛犬

区指定文化財（有形・金石文）

昭和50年（1975）3月19日指定

所在地：六郷神社 東六郷3-10-18

交通アクセス：①京浜急行本線雑色駅から徒歩7分、六郷土手駅から徒歩6分

②蒲田駅から京急バス〈蒲73・74・75系統〉で「六郷神社」下車すぐ

公開の有無：常時公開（六郷神社境内）



六郷神社は創建に源頼義・義家父子よりよし よしいえが関わったとも伝わり、古くからその名の知られた神社です。現在は境内の一角に据えられているこの狛犬は、貞享2年（1685）に六郷中町の人びとが願主となり、二世安楽にせあんらく（現世の安穩と来世の極楽往生）を祈って奉納したものです。石工は三右衛門という人物でした。

この狛犬を紹介するにあたって特筆すべきは、何と云ってもその独特な姿でしょう。体部に対して比率の高い頭部にはひときわ目を引く特徴的な顔が造形されており、目や鼻孔は大きく、唇は厚く、歯はまるで獅子舞の獅子頭のように立派なものが並びます。たてがみや尾は意匠的にあらわされ、ユーモラスな風貌を惹きたてています。

もとは社殿前で向かい合っていたものと思われ、近年の境内整備が行われる前までは旧社務所建物の前庭にありました。吽形狛犬のほうは、左耳端が欠損し、頭頂中央部には角の痕跡と思われる瘤状こぶの隆起があります。

製作年代の判明する狛犬としては区内で最も古く、一对で現存するのも貴重な文化財です。ぜひ六郷神社を訪れ、現役の狛犬とも見比べてみてください。